

記入例 水質基準対象施設の場合

記入例

様式第 1 (第 4 条関係)

特定施設設置(使用、変更)届出書

令和〇〇年 〇月 〇日

千葉県知事 〇〇 〇〇 様

千葉縣市原市千種海岸〇-〇

届出者 千葉工業株式会社

代表取締役社長 千葉 太郎

TEL 043-〇〇〇-△△△△

ダイオキシン類対策特別措置法 第 12 条第 1 項 (第 13 条第 1 項 又は 第 2 項、第 14 条第 1 項) の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業所の名称	千葉工業株式会社市原工場	※ 整 理 番 号	
工場又は事業所の所在地	市原市五井南海岸△	※受理年月日	年 月 日
特 定 施 設 の 種 類	1 2 アルミニウム又はその合金の製造の用に供する焙焼炉、溶解炉又は乾燥炉から発生するガスを処理する廃ガス洗浄施設 1 基	※ 施 設 番 号	
△ 特 定 施 設 の 構 造	大気基準適用施設にあつては別紙 1、水質基準対象施設にあつては別紙 4 のとおり。	※ 審 査 結 果	水質基準対象施設の種 類と数を記入。
△ 特 定 施 設 の 使 用 方 法	大気基準適用施設にあつては別紙 2、水質基準対象施設にあつては別紙 5 のとおり。	※ 備 考	
△発生ガス又は汚水若しくは廃液の処理方法	大気基準適用施設にあつては別紙 3、水質基準対象施設にあつては別紙 6 のとおり。		連絡先と産業分類を 記入。

(連絡先) 千葉工業株式会社市原工場 工務課 千葉 次郎 043-〇〇〇-△△△△

(産業分類) 1 4 5 3 段ボール箱製造業 資本金：3 0 0 0 万円

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、大気基準適用施設にあつてはダイオキシン類特別措置法施行令別表第 1、水質基準対象施設にあつては同令別表第 2 に掲げる号番号及び名称を記載すること。
- 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 5 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A 4 とすること。

別紙 4

特定施設（水質基準対象施設）の構造

工場又は事業場における施設番号	No. 1	
特定施設番号及び名称	12 アルミニウム又はその合金の製造の用に供する焙焼炉、溶解炉又は乾燥炉から発生するガスを処理する廃ガス洗浄施設	
型 式	充填等方式 (イオンスクラバー)	
構 造	集じん機、洗浄塔	
主 要 寸 法	12,000×12,000×10,000 mm	
能 力	廃ガス処理量 400 m ³ /min	
配 置	別添のとおり	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日	令和〇〇年〇〇月 〇日	年 月 日
工 事 完 成 予 定 年 月 日	令和〇〇年〇〇月 〇日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	令和〇〇年〇〇月 〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

特定施設（水質基準対象施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	No. 1			
設 置 場 所	別紙のとおり			
操 業 の 系 統	別紙のとおり			
使 用 時 間 間 隔	8 : 0 0 ~ 1 8 : 0 0			
1 日 当 た り の 使 用 時 間	1 0 時間			
使 用 の 季 節 的 変 動	なし			
原材料（消耗資材を含む。）の種類、 使用方法及び1日当たりの使用量	苛性ソーダ（中和用） 1, 0 0 0 L / 日			
汚 水 又 は 廃 液 の 汚 染 状 態	通 常	最 大	通 常	最 大
	ダイオキシン類 5 p g -TEQ/L	ダイオキシン類 8 p g -TEQ/L		
汚 水 等 の 量 （ m ³ / 日 ）	通 常	最 大	通 常	最 大
	5 0	8 0		
その他参考となるべき事項	No.1 焼却炉から発生する 廃ガス処理を行う。			

ガス等を発生する大気基準適用
施設を記入してください。

工場又は事業場における 施設番号		No. 1							
処 理 施 設 の 設 置 場 所		別添のとおり							
設 置 年 月 日		年 月 日							
工 事 着 手 予 定 年 月 日		令和〇〇年〇〇月 〇日							
工 事 完 成 予 定 年 月 日		令和〇〇年〇〇月 〇日							
使 用 開 始 予 定 年 月 日		令和〇〇年〇〇月 〇日							
種 類 及 び 型 式		凝集沈殿（自動式）							
構 造		PE 製				ダイオキシン類の発生箇所からの 汚水処理、排水までの工程をフ ローシートで添付してください。			
主 要 寸 法		30,000×5,800×4,500 mm							
能 力		120 m ³ /日							
処 理 の 方 式		凝集沈殿							
処 理 の 系 統		別添のとおり							
集 水 及 び 導 水 の 方 法		別添のとおり							
使 用 時 間 間 隔		連続							
1 日 当 た り の 使 用 時 間		24 時間							
使 用 の 季 節 変 動		なし							
消耗資材の 1 日当たりの 用途別使用量		凝 集 剤 2L/日 硫酸アルミニウム 20L/日							
汚 水 等 の 汚 染 状 態 及 び 量		通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
		5	1	8	2				
	量 (m ³ /日)	50	50	80	80				
残さの種類、1 月間の種類 別生成量及び処理方法		汚泥 200 kg (産業廃棄物場外処分)				外部への排出がない場合等に 記入してください。			
排 出 水 の 排 出 方 法		別添のとおり							
その他の参考となるべき 事項		外部への流出はなし。							

備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、
使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工
事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。